

○ 再生可能エネルギーなどの安定供給と高効率エネルギー利用システムの構築

3. 再生可能エネルギーなどの利活用と安定供給のための技術開発

(1) 木質バイオマスの安定供給とエネルギーとしての利用技術

課題名	地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装		
研究項目	戦略研究	研究期間	令和1～5年度
担当者	利用部 バイオマス G 山田敦（ほか7名）		
共同研究機関 （協力機関）	道総研エネルギー・環境・地質研究所（総括），道総研ものづくり支援センター，道総研北方建築総合研究所，道総研建築性能試験センター，道総研林業試験場，北海道大学 （津別町，当別町，足寄町，関係コンサルタント等）		
研究内容	再エネの利用拡大と省エネ化の推進のため，具体的な地域を対象に地域特有の課題を踏まえた技術開発を行い，北海道が有するエネルギー資源を最大限に活かしつつ，環境と調和した持続可能な循環型地域社会の創造に貢献する。		
研究結果	エネルギー源として森林資源や地中熱が比較的豊富に賦存するものの活用が進んでいない当別町において，自治体が所有する森林の活用や公共施設整備を通じ，再エネの供給拡大を図った。また，導入プロセスの検討や社会合意形成に必要な各種評価を行った。		

課題名	木質バイオマスエネルギーの利用拡大に対応する燃焼灰利用の推進に向けたリサイクル技術の開発		
研究項目	公募型研究	研究期間	令和4～6年度
担当者	利用部 バイオマス G 西宮耕栄（ほか3名）		
委託元 （協力機関）	北海道 （北海道水産林務部林業木材課）		
研究内容	燃焼灰の利用状況の調査結果に基づき，リサイクル事業者の関心が高い農業資材分野で，たい肥化における燃焼灰の腐熟促進材としての利用技術を開発する。また，融雪剤としての利用拡大のために，ドローン散布に対応した造粒などの燃焼灰のハンドリング向上技術を開発する。		